

〔優秀賞〕

◇ 題名 もっと自分らしく ◇

犬伏小学校 5年 竹内 みう

みなさんは、どんな服そうがすきですか。わたしがすきな服そうは、ティーシャツやパンツなど動きやすく、シンプルなつくりのものが多いです。しかし小さいころ友達に、「もっとふりふりした服は着ないの。」と言われたことがあります。どうしてそんなことを言うのか不思議に思い聞いてみると、「女の子だからふりふりの服を着るでしょ。」と言われました。不安に感じたわたしは、仲良しの友達に、「わたしって、変なのかな。」と聞くと、「そんなことないよ。」と言ってくれて、とても安心しました。

ある日、姉と動画を見ていると、男の人がメイクをしていたり、かわいいスカートをはいていたりしていました。その様子がとても楽しそうにしている、だれがメイクをしても、何を着てもいいのだと感じました。自分がすきなものに自信をもち、身に付けることは、とても大切なことだと思いました。しかし、この人は、小さいころのわたしのように、今まで悩んだことはないのだろうか心配になりました。

わたしの家では、いつも母が家で料理や洗たくなどの家事、父が朝から夜まで仕事をすることが多いです。みなさんの家ではどうでしょうか。女性は家で男性は外で働くというイメージがあり、それがふつうのような気がします。しかし、それぞれの家族によって選ぶことができるといいと思います。父が家で家

事をしたり、母がずっと仕事をしたりすることを自由に決められるべきだと感じました。また、洋服も男性用、女性用と分けてあります。しかしこれからは、パンツやスカートなど、自分がすきな色、すきな形を選んでだれもが自分らしい服を着てもいいと思います。「これがふつう」や「これが当たり前」という考え方が無くなって、だれもが自分らしく生活ができるようになったらいいと思います。少しずつですが、個性や自分らしさが認められる社会になってきていると思います。しかし、今までの常識やへん見があり、悩んだり苦しんだりしている人がまだまだたくさんいることも事実です。「自分らしく生活したい」と思っているのに、人に笑われ悩んだり、苦しんだりする人がいることがとてもつらいです。おたがいの自分らしさやよさを認め合い、男女のちがいに関わらず、だれもが自分らしく楽しく助け合いながら生活できるような世界にしたいです。そうすることで、今よりも「もっと自分らしく」生活できると思います。